

既に取り組んでいる市レベルの 課題のまとめ

平成29年度 第2回 松戸市地域ケア会議
平成30年2月15日

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ① ～総論・認知症～

1. 認知症関係

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------------------------------|--|--|------|-----|-----|--------|----------|-----|-------|-----------|-----|-------|----------|-----|-----------------|
| 1. 認知症の理解促進 | ○小中学生などの様々な世代や職種において、認知症の理解を促進する。 | ○松戸市医師会は、小中学校に対して出前講座を行う「まちっこプロジェクト」を実施し、小中学生やその保護者に対する認知症等の普及啓発を図る。市・地域包括支援センター、松戸市訪問看護連絡協議会、消防局等は、プロジェクト運営に当たっての協力を行う。 | ○松戸市医師会は、小中学校に対して出前講座を行う「まちっこプロジェクト」を推進。 ・29年度15校予定【12月末実績 13校】 内、認知症普及啓発 4校 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ○職業別認知症サポーター養成講座を実施し、職業による認知症の方への理解と見守り等について普及・啓発を行う。 | ○松戸東警察署・歯科医師会・薬剤師会で認知症サポーター養成講座を開催する。 <table border="1" data-bbox="1346 719 2047 1070"> <thead> <tr> <th>実施機関</th> <th>開催日</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松戸東警察署</td> <td>28年10月4日</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>松戸警察署</td> <td>29年10月26日</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師会</td> <td>28年11月5日</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師会 薬剤師会合同</td> <td>29年7月20日</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> | 実施機関 | 開催日 | 参加数 | 松戸東警察署 | 28年10月4日 | 51人 | 松戸警察署 | 29年10月26日 | 97人 | 歯科医師会 | 28年11月5日 | 41人 | 歯科医師会 薬剤師会合同 |
| 実施機関 | 開催日 | 参加数 | | | | | | | | | | | | | | |
| 松戸東警察署 | 28年10月4日 | 51人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 松戸警察署 | 29年10月26日 | 97人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科医師会 | 28年11月5日 | 41人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科医師会 薬剤師会合同 | 29年7月20日 | 61人 | | | | | | | | | | | | | | |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ② ～総論・認知症～

1. 認知症関係

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|--------------------|-----------------------------------|--|---|
| 1. 認知症の理解促進 | ○小中学生などの様々な世代や職種において、認知症の理解を促進する。 | ○市は、平成30年度までに、全ての正規職員を認知症サポーターにすることを旨とする。 ○市は、市民向けの認知症サポーター養成講座を積極的に開催する。 | ○市は、目標達成に向け、計画的に、市職員向けの認知症サポーター養成講座を開催する。 ※認知症サポーターである市職員数：2,371人（76.0%）【29年12月末現在】 【29年4月時点：1,098人（35.0%）】 ○市は、認知症サポーターが平成29年度末までに2万1千人に達するよう養成講座を開催する。 【29年12月時点：21,779人】 |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ③ ～認知症～

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|-------------------------|---|---|--|
| 3. 認知症の地域支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症高齢者が地域で生活していくための居場所や役割の検討が必要。 ○認知症の人と家族を支える地域資源の充実が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症カフェやサロンの推進を図るため、認知症コーディネーターや認知症地域推進員、オレンジ協力員との連携強化のため、交流会を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「オレンジ声かけ隊研修会」を実施。 講演内容：岩手県矢巾町の見守り活動「わんわんパトロール」より、住民が身近にできる活動について啓発。【29年12月20日190名参加】 |
| 4. 認知症高齢者の意思決定支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○金銭管理等の意思決定が困難である独居の認知症高齢者が増加していく中で、意思決定支援を行う仕組みの充実を図っていくことが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ○成年後見制度の充実を図るため、市は、低所得の場合の本人・親族申立て費用の助成制度の創設や、市職員増員による市長申立ての迅速化を図る。 ○市は、成年後見制度等の相談対応体制を構築する。 | <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本人・親族申立て費用の助成制度の周知を図っていく。(29年12月時点) <ul style="list-style-type: none"> ・本人・親族申立て費用の助成申請：8件 ○市は、迅速に市長申立て等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・市長申立件数：11件【27件（28年度）】 ○「成年後見制度等相談支援事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：35件 【68件（28年度）】 <p><経過></p> <ul style="list-style-type: none"> ○松戸市介護支援専門員協議会の協力の下、ケアマネジャーの金銭管理支援の実態を調査実施（H27年度）。 <p><u>上記調査結果より、金銭管理支援体制の推進内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人・親族申立て費用の助成制度の創設（H28年度より開始） ・市長申立ての迅速化（H28年度より1名増員） ・日常生活自立支援事業（市社協実施）の専門員を増員（H28年度より予算確保、増員） |

既に取組んでいる市レベルの課題のまとめ ④ ～医療連携～

2. 医療連携関係

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|------------------------------------|---|--|---|
| 5. 在宅ケア に関する 啓発 | <p>○在宅ケア（医療・介護）に対する期待が大き一方で、不安も大きい。 在宅ケアを安心して受けられるようにするための情報提供や啓発活動が必要。</p> | <p>○市と松戸市医師会を中心とする関係団体は、在宅医療・介護連携推進事業において住民向け講演会を開催し、在宅医療・介護に関する住民向けの啓発を行う。</p> <p>○松戸市医師会は、小中学校に対して出前講座を行う「まちっこプロジェクト」を通じて、学生・保護者・地域住民に対して、かかりつけ医や在宅医療に関する啓発を図る。松戸市訪問看護連絡協議会、市・地域包括支援センター、消防局等はプロジェクト運営に当たっての協力を行う。</p> | <p>○市と医師会は、3環境区ごとに、在宅医療に関する住民向けの講演会（テーマ「住み慣れた地域で最期まで暮らすためには」）を実施。 【実績（29年度12月末）】*開催数 2回 常盤平管内：47名 小金管内：51名</p> <p>○医師会は「まちっこプロジェクト」を通じてかかりつけ医や在宅医療に関する啓発を図り、松戸市訪問看護連絡協議会、市・地域包括支援センター、消防局等は、運営協力を行う。 【実績（29年度12月末）】 *授業実施数 13回（全15回） （いのちの尊さ 9回、認知症 4回）</p> |
| 6. 医療・介護 連携の 推進 | <p>○連携を効率化するための在宅医療・介護関係者間のルールづくり</p> <p>○共通言語を用いた、医療と介護の連携の推進。</p> | <p>○松戸市医師会は、診療連携（診療所間連携）グループの拡充・形成の推進、在宅医療参入に向けた研修会の開催などを通じて、かかりつけ医の在宅医療を推進する。</p> | <p>○医師会 主催の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「二人主治医制に関するかかりつけ医研修会」の開催（29年7月24日） ・「在宅医療スタートアップ研修会」の開催（30年2月6日） |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ⑤ ～介護予防・生活支援～

4. 介護予防・生活支援関係

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|-----------------|-----------------------------------|---|---|
| 7. セルフケアの推進 | ○セルフケアの意識や知識の不足があるため、普及啓発が必要。 | ○地域包括支援センターが実施する介護予防教室にて、地域づくりの視点を含めセルフケアの意識の向上を図る。 | ○地域包括支援センターの介護予防教室におけるセルフケア意識の好事例 【新松戸】 ・セルフケアシートを毎日記入することで、運動することや食事に気を配る等健康への意識が高まっている。 【小金原】 ・自主トレメニューを作成することで自宅でも運動を実施するようになり、体力維持向上につながっている。 |
| 8. 生活支援・介護予防 | ○元気高齢者や住民による生活支援・介護予防に資する自助・互助の推進 | ○市は、生活支援制整備事業として、協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置による住民主体活動を推進する。 | ○支え合う地域づくり勉強会を開催し、地域に関わる多様なネットワーク強化、地域資源の把握により高齢者の困りごとに対する住民主体活動を考える。 (29年2月より明第1地区、五香松飛台地区、新松戸地区3の地区にて月1回継続実施) ○第一層協議体を開催し、27年からの概要確認と今後の方向性などの検討を行う。 (参加委員：10月31日 23人、11月8日 20人) |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ⑥ ～介護予防・生活支援～

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|---------------------|--|--|---|
| <p>9. 生活支援・介護予防</p> | <p>○元気高齢者や住民による生活支援・介護予防に資する自助・互助の推進</p> | <p>○市は、介護予防・日常生活支援総合事業により高齢者の活動および社会参加など人とのつながりによる相互的な介護予防を推進する。</p> | <p>○都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」 【アンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者の生活習慣（活動、食生活等）、経済面、健康観、助け合い、環境等に関する「健康と暮らしの調査」実施（対象人数：4,473人） ・通いの場参加者の生活や活動状況に関する（回数、楽しみ、情報等）の「通いの場調査」（対象人数：56人） ・新規通いの場が多い地域に補完的に「健康と暮らしの調査を実施。（対象人数2,753人） <p>【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回開催し、参加者は延べ168人 <p>【プロボノチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロボノ説明会を4回、プロボノオリエンテーションを7月15日に実施。 ・プロボノキックオフを8月5日に行い、プロボノ19人が5団体を支援開始。9月9日に成果ミーティングを実施。 <p>○訪問型元気応援サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス実施登録者数（12月末現在）248人（男71人、女177人）平均年齢68.1歳 ・基本研修を実施（受講者：7月13日 30人、10月23日 28人） <p>○短期集中予防サービス</p> <p>従来の通所型サービス（単一型）に加え、10月より訪問と通所を組み合わせた機能強化型を設置。 （事業所数：単一型14か所・機能強化型5か所。うち2か所は両方実施）</p> |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ⑦ ～見守り～

5. 見守り・安否確認関係

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 12. 高齢者の 見守り・ 安否確認 | <ul style="list-style-type: none"> ○町会、民生委員等の地域関係者との重層的な見守りネットワークの構築の推進 ○見守り協定の締結推進と協定締結事業者との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○オレンジ声掛け隊の活動の推進や「見守り協定」の締結推進など、住民・企業など、広域レベルでの重層的な見守りネットワークの構築を推進する。 ○市地域包括支援センターは、地域内での見守り・安否確認の状況を把握し、好事例について共有化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域での声掛けを行う「オレンジ声掛け隊」の活動を推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 29年12月時点 * 登録者数：3233人 * 登録団体数：221団体 ○メール等を活用した見守り体制の強化。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジ声掛け隊、オレンジ協力員、見守り協定事業所に安全安心メールの登録を推奨 ・ 「どこシル伝言板」の周知を推進 ・ 県のSOSメールの活用の推進 ○市において、企業が、業務の過程で高齢者の見守りに関する協力を行う「見守り協定」の締結を推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 29年12月時点：9企業 【28年度末時点：8企業（配食業など）】 ○警察からの要請を受け、防災無線等を迅速に活用した行方不明高齢者の捜索を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 29年12月時点：22件 発見22件 ・ 21年10月の開始以来、発見率100%（年平均20件程度） |

既に取り組んでいる市レベルの課題のまとめ ⑧ ～見守り～

| テーマ | 市レベルの課題 | 関係団体・機関及び行政による対応方針 | 対応状況・今後の方向性 |
|-------------------------------|---|--|---|
| 9. 災害発生時の要介護者等への対応 | <p>○要介護高齢者等を受け入れる福祉避難所が、実際の被災状況を想定した動きができるようにすることが必要。</p> | <p>○地域包括支援センター合同連絡会において危機管理課担当者から、熊本災害支援の派遣報告を聞き、災害支援体制を考える機会とした。各センターごとに災害時に何ができるか、何をやるべきか、支援のあり方を検討していく。</p> | <p>○特連協は、松戸警察署・消防局・地域住民・市と連携し、29年6月24日に災害訓練を実施（93名参加）</p> |